

授業改善等に関する報告書（2021年度前期）短期大学部

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（前期）短大共通] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
実践入門セミナー（英コミ③）	萩野敏	対面授業で始まったものの、今年度もほとんどの期間で双方向オンライン授業になってしまいました。受講者である新入生は戸惑いながらも、多くは指示された作業を適確にこなし、よく頑張ったと思います。総合満足度の平均は4.37で、昨年度に続き、対面授業だった一昨年同様に高めの値となりました。
日本語表現法 a（日コミ①）	大塚みさ	ほとんどの学生が実感できているように、日本語の読解力と表現力を大きく伸ばせた4ヶ月でした。 双方向型授業でのグループワークに全員が積極的に取り組み、要約演習においては「Zoomから一時退出可」としたにもかかわらず、ほとんどがZoomに残って取り組んでいたことから、仲間と共に学ぶことの大切さも共有できたのではないかと、その効果は絶大だったのではないかと感じています。フィードバックがよかったという声もいただき、うれしく思いました。 ここで鍛えた要約力を、後期の「基礎ゼミ」でもさらに伸ばせるよう授業に工夫を凝らしていきたいと思っています。
実践入門セミナー（日コミ④）	西脇智子	授業の進め方やわかりやすさについてはとりわけ心がけておりました。授業のスピードが適切＝4.57、配布資料のわかりやすさ＝4.50、また、授業を通じて自身の成長を実感・総合的に判断して満足＝4.50と評価いただきありがとうございます。大変励みになりました。今後ともわかりやすい授業をめざして精進して参ります。
実践入門セミナー（英コミ②）	久保田佳枝	必修科目であり、また1時間目の授業であったことから、毎回の授業に遅刻することなく出席は大変だったことと思います。朝早くからのプレゼンや各種学習方法の学び等、よく頑張りました。後期も引き続き、この調子で取り組んでいただけることを期待いたします。
実践入門セミナー（英コミ④）	三田薫	皆さんがしっかり授業に取り組んでくれたことが「レポートの書き方や、プレゼンテーションについて初めてしっかり学ぶことができた。」などのコメントからわかりました。下田歌子先生についての理解も深まったようで良かったです。
実践キャリアプランニング（英コミ）板倉文彦		授業評価アンケートでは、授業内容についてはほぼ平均値を上回る評価を頂けましたが、満足度を含む全体については平均値を下回る結果となっています。 本科目は実践スタンダード科目であるため、学生の皆さんが学んだ後は高い満足度を感じて頂くべきだと捉え、さらなる授業改善に取り組んでいきたいと思っています。
実践入門セミナー（日コミ②）	佐藤辰雄	1) クラス授業の当科目に対して学生は、Q1出席状況良くQ2予復習に平均より時間を割き、Q4授業理解も高い一方、Q11の成長実感とQ15の満足度が平均よりやや低い結果が出た。教員の授業運営に関わる大問Ⅱが並べて低めなのにQ4が高いのは、客体的な不都合を主体的に克服したという認識なのだろうか。 2) 大学での学び方を教授する科目として、①自覚的であること・気付きを重視すること、②実践的なノウハウを修得する、の2点を大きな柱とし、課題を個人とグループ両面から何種類も提出させた。Q2の予復習時間が多かったのもそれを反映しようし、学生の意見も、グループ作業やレポート作成について触れ、高く評価するものだった。 3) Q14の自己採点は3.75、教員の学生評価も3.74と一致した。他の担当科目と比較するならやや高い数値であるのも、彼女たちの頑張りがそれだけ顕著だったからである。
日本語表現法 a（日コミ③）	高瀬真理子	クラスのまとまりも良く、こちらの工夫も好意的に受け止めてくれたおかげで高評価となりました。時間短縮のために学生たちが主体的に動いてくれたことも、学びの場面としてはいいことでした。それらの相乗効果が、良い結果を生み出したと思います。
実践キャリアプランニング（日コミ）板倉文彦		評価アンケートではほとんどの科目で平均値を上回る評価がいただけました。要因はフリーコメントからも伺えた、先輩の話が参考になったことが想定されます。 今後も理論のみでなく、先輩方のロールモデルも示しながら、学生の皆さんの理解度促進に努めたいと思います。
Integrated English a(⑥)	三田薫, ワインダー, グレゴリー・ジ	「論理的に考える力が身についた」「ディスコースマーカーを使って文章を作るの大切さを学ぶことができた」など、英文ライティング力がレベルアップしていることがわかりました。単語の学習も頑張りましたね。
Integrated English a(②)	栗田智子, エドワーズ, マイケル・ア	I was glad to see the results from students indicating their satisfaction with the class.
ユニバーサルデザイン	西脇智子	音声を伴わないオンデマンド授業となりましたが、心がけました説明のわかりやすさ＝4.46、配布資料のわかりやすさ＝4.51、という評価をいただきありがとうございます。大変励みになりました。今後ともわかりやすい授業をめざして精進して参ります。

実践入門セミナー（英コミ①）	大倉恭輔	コメントが遅れて失礼しました。 高校までとは異なる「学びの方法」に戸惑った部分が大きい感じですね。 わからない部分は「質問掲示板」を活用するなどして、教員にアプローチしてくださいね。
メディア論	大倉恭輔	コメントが遅れて失礼しました。 「広告の解説」のあたりが難しかったのでしょうか。 ひとつひとつの素材について、もっと時間をかけていくことにします。
実践入門セミナー（日コミ③）	高瀬真理子	クラスのまとまりが良かったおかげで、良い評価となりました。 それぞれの自信となって、後期の科目への成長が見込めるように工夫を続けたいと思います。
日本語表現法 a（日コミ④）	西脇智子	授業の進め方やわかりやすさにはとりわけ心がけて取り組みました。授業スピードの適切=4.57、配布資料のわかりやすさ=4.50、授業を通じて自身の成長を実感・総合的に判断して授業に満足=4.43という評価をいただきありがとうございます。大変励みになりました。今後ともわかりやすい授業をめざして精進して参ります。
日本語表現法 a（日コミ②）	佐藤辰雄	1) クラス授業の当該科目に対して、学生の見解はQ1出席状況良くQ4授業理解も若干高いものの、Q11の成長実感とQ15の満足度が平均よりやや低い数値となった。 2) 漢字・四字熟語の小テストは地道な努力を要する一方、100字要約ドリルのようにこれまでの国語総合力、つまり読解力と要約力・表現力も求められるこの科目は、小テストのように努力がすぐに点数に反映する面と要約ドリルのように方法論的に具体的に実習しても効果がすぐには表れない面が融合するやっかいな科目だが、毎回の点数が低い学生が多かった前者はQ2予復習時間が短い自己認識と対応し、後者も伸びが鈍かった。 3) 上記2側面にも拘らず、Q14の自己採点は3.78と高い。毎回の成果に較べて高望みと見られる数字だが、教員の学生評価も3.7とほぼ一致したのは、偏に数種の日本語表現課題を熱心にこなした努力点が寄与したと表明しておこう。 猶、Q10が4.11と低い点については今後の警笛として備えたい。つまり教室が箸箱のように横長なので右を見て学生に語ると左側の学生は視野から消えて声も届きにくかろう。マスク越しなのでいっそう用心すべきことである。マイクを積極的に使うべきと考える。
和食の文化	関登実子	みなさんの毎回の学習が自分の発表力をのばしたと思います。 どの様な資料を読み込み、判断し、生活に生かして行くかはあなたの考え次第です。人間のからだは心は複雑に構成されています。自分や家族を守るためには相当の覚悟と実践力が必要です。勉強は一生続けてください。
ことばの科学	三田薫	皆さんの授業態度やコメントから、大変熱心に受講してくれていることが分かりました。また「授業で聞いたことを自身でかみ砕き、レポートとしてまとめる力が身についた。」等、授業内容をしっかり消化してレポート作成に取り組んでくれたことを大変うれしく思います。
女性と心理	大倉恭輔	コメントが遅れて失礼しました。 初心者向けのビデオ教材を中心に授業を進めましたが、まだ、難しい部分があったようですね。 わかりにくい部分を補うために「質問掲示板」を設置しているのですが、活用してもらえず残念でした。 さらに内容を噛み砕くように工夫します。
文学 a	佐藤辰雄	1) 受講生がしっかり者の2年生と3年生のみだったことが授業全体に良い影響を与えたと思量する。一言で言えば意欲的で理解力が高かったということ。各問とも全体にわたって評価が高いが、少人数受講生の中で回答者が半分なので数字には拘らない。 2) Q14の自己採点が4.00と異様に高いのは、彼女たちの充実感と自信を背景にするものであろうけれど、教員の学生評価は4.75と更にその上を行った。
フランス語 a	岡本尚子	フランス語aでは、最も基本的なフランス語の単語や表現、文法を学びました。初めて触れる言語ということで、覚えることがたくさんあり難しいと感じた人も多かったと思いますし、感染症対策を行いながらの対面授業、メディア授業への対応等、今期は特にいろいろとやりにくさがあったことと思います。そんな中、ほとんどの人が積極的に取り組んでいたのも、スムーズに授業を進めることができました。対面授業の際に確認が難しかった発音の面も、時折行った少人数グループでのZoomによる発音練習で皆さんの様子を把握することができ、有意義だったと思います。 どの言語もそうですが、言語を習得するのは非常に難しいことだと思いますけれども、基礎的なことを押さえておけば、今後の学習も楽になっていきますので、特にフランス語bを履修する人は、aで学習した事項をきちんと身に付けるようにしてください。また、時間をおいてもう一度見直すと、理解しやすくなることもあります。各授業で出題したGoogle classroom上の確認テストはそのまま残しておきますので、ぜひ復習に利用していただきたいと思っています。

<p>実践入門セミナー（日コミ①）</p>	<p>大塚みさ</p>	<p>成長実感（Q11）の平均4.71という数字に表れているように、4月からの成長ぶりをもっともよく見えた授業でした。毎週の予習復習時間（Q2）は平均1.32時間と全体平均のほぼ1.5倍であり、コツコツ努力した様子がうかがわれました。</p> <p>自由記述欄には、「レポート」「プレゼン」をはじめ「課題発見力」「論理的文章作成力」が身についたことがたくさん綴られており、どれも重点的に指導したことだったのでうれしく思いました。</p> <p>みなさんの回答をもとに、次年度の授業に更に改善を加えて行きたいと思います。</p> <p>ここで培った表現力や発信力を、2年次のゼミに向けてさらに伸ばして行ってください。</p>
<p>Integrated English a(⑦)</p>	<p>エドワーズ, マイケル・アンソニー</p>	<p>日コミ・英コミ混合クラス、また短大の共通必修科目ということで、英語に対する苦手意識がある学生さんには大変な科目だったと存じています。かなりわかりやすく説明をしていたつもりでしたが、いかがだったでしょうか。またコメントには「英語に対する苦手意識が少し減った」というようなコメントも見受けられ、大変嬉しく思っております。来学期は英文作成の機会がもっと増えていきますが、さまざまなツールを駆使しながら世界とつながる体験を経て、さらに苦手意識克服へとつなげていきましょう。</p>
<p>オープン講座②</p>	<p>エドワーズ, マイケル・アンソニー</p>	<p>It's good to see that not only the 'tandai' students were satisfied with the class content, but also several students from the university as well.</p>